

自宅学習とアレンジ力

ラーニングコモンズで、ある本と出合いました。その名は「自宅学習の強化書」。私はこの手の本を何冊か読みましたが、初めて知る「教育ユーチューバー」という筆者の肩書きにひきつけられ手に取りました。

教育ユーチューバーの葉一氏は、塾講師の経験を活かし、「塾に通えない生徒が、自宅で塾の授業を受けられる環境を作りたい」という思いから、無料動画を配信しています。それを視聴して、自宅学習だけで志望校に合格する生徒が続出しているようです。彼の本には、勉強の仕方についての的を射たことがわかりやすく書かれています。それを全て書くことはできませんので、興味がある人はぜひ読んでみてください。

ここでは、その本の初めに書かれている「なぜ自宅学習を強化する必要があるの?」について触れたいと思います。葉一氏はそのことについて、次のように語っています。

「私がその違い(自宅学習で成果が出せる子と、成果が出せない子の違い)で一番大きいと思っているのは、勉強のやり方にしても計画の立て方にしても、『自分でアレンジする力を持っているかどうか』だと思っています。」

その「アレンジ力」については、その後に説明されていました。ここでは省略します。「アレンジ力」とは、つまり「自分で工夫や変更を加え、より良いものを作り出す力」と言ってもよいでしょう。

私も同感です。「アレンジ力」が身に付けば、学習に自分なりの工夫や変更を加えて「学力」をつけることができます。そして、学習以外でも、生きる上で工夫や変更を加えてより良いものを開発していくことができると思います。「アレンジ力」を学習で養い、それを生きる上で発揮できれば、一石二鳥だと言えますね。

逆に、言われなければできない者や、やることが決まっていなければできない者には、「学力」や「アレンジ力」はなかなか身につけません。宿題だけやって「勉強した」と満足しては、力がつかないのと同じです。命令されたことや、やることが決まっていることを、AIがやってしまう時代がやがて来ます。そう考えると、「アレンジ力」を身に付けない人間は、淘汰されてしまうかもしれないですね。このことは、私たち大人についても言えることです。言われたことや、やるべきことをやっているだけでは、生産性は維持できても上げることはできません。組織の中で足並みをそろえることは大切にながらも、やはりやり方や取り組み方をアレンジして新しいものを作り出すことがこれからは大切になってきます。

「教育ユーチューバー」という肩書きも、葉一氏が、塾講師にとどまることなく独立して作ったものようです。そこに生きているのも、まさしく「アレンジ力」と言えますね。

